

大学運動部員や高校生、芸能人、自衛隊員、警察官からも逮捕者が出るなど、特に若者の大麻汚染が深刻です。全国の警察が2023年上半期（1～6月）に摘発した

大麻事件の容

疑者は過去最多の2837

人で、覚醒剤事件の容疑者（2470人）を初めて上回ったことが、読売新聞の警察庁への取材でわかりました。

大麻は、「ゲートウエー・ドラッグ」

## 深刻化する大麻汚染

と呼ばれ、覚醒剤など、より危険な薬物乱用の入り口になっていきます。SNSによる情報拡散も要因とみられます。使用方法も、乾燥大麻をあぶって吸うほか、クッキーやグミに

混ぜた食品や、

電子たばこ用の「大麻リキッド」

など、乱用の裾野が広がっています。有害性を家庭や学校で繰り返し伝え、薬物に手を出さない社会を作りましょう。

防犯一口メモ